

平成 25 年度第 2 回次世代がん治療推進専門家養成プラン運営諮問委員会議事要旨(案)

日 時：平成 26 年 1 月 13 日（月）13 時～14 時

会 場：秋田ビューホテル 4 階 光琳の間

出席者：別紙参照

司会：柴田 浩行

（副委員長、秋田大学大学院医学系研究科医学専攻臨床腫瘍学講座教授）

議事に先立ち、伊藤委員長から第 2 回の運営諮問委員会開会の挨拶があった。

また、新たに運営諮問委員会委員になられ前回欠席された外旭川病院ホスピス長 嘉藤茂先生から挨拶があった。

1. 今年度事業報告について

本山委員から資料 1 ①、1 ②、1 ③に基づき、本年度の事業、特に下記事業について詳細な報告があった。

- ・ 地方中核病院での腹腔鏡視下手術の導入、術者養成
- ・ あきた地域がん医療説明会の開催
- ・ 地域がん診療連携拠点病院によるがん医療説明会の開催
- ・ 地域自治体とがんプロの連携
- ・ あきた広域がんセンターボードの実施
- ・ 秋田大学における e-learning 講義
- ・ 遠隔授業システムの本格稼働
- ・ 終末期ケア向上に関する教育を目的に ELNEC-J
- ・ 地域ネットワーク会議の開催
- ・ 秋田県がん教育事業
- ・ 「Meet the Director」企画

2. 来年度事業案について

本山委員から資料 1 ①に基づき、基本的には本年度の事業を引き続き行う旨の説明があり、新たに予定している下記事業について説明があった。

- ・ 地域がん医療に関する全国フォーラム（仮称）
- ・ 秋田の近未来医療を担う人材確保フォーラム（仮称）
- ・ ウィンターセミナー in 秋田

3. 北東北がん医療コンソーシアムについて

柴田委員から資料 2 に基づき、前回のがんプロの後継事業である北東北がん医療コンソーシアムについて詳細な説明があり、この運営諮問委員会の形で秋田ブロックとして

入ることが可能か、あらためて各委員に文書で意向を伺いたいので、資料を持ち帰り検討願いたい旨の発言があった。

#### 4. がん診療連携拠点病院等の要件見直し（案）について

柴田委員から資料3については、がん診療連携協議会で県からさらに詳しい資料が提示されたので割愛するが、運営諮問委員会の枠でも今回の要件見直しに関して連携しながら対応したい旨の発言があった。

#### 5. その他

##### 1) 秋田県がん教育事業について

柴田委員から「秋田県がん教育事業」は、県の事業をがんプロが受託し行ったものであり、来年度も継続する事業であるため、詳細を県の方から説明願いたい旨の発言があり、健康福祉部の山本氏から資料4に基づき、詳細な内容および来年度に向けての改善点について、説明があった。

委員から講師依頼のルートおよび実施する対象についての意見があり、山本氏から来年度実施に際して現場の先生方が混乱しないように、また、どういった形で実施するのがより効果的、効率的なのかを検討する旨回答があった。

柴田委員からこれは委託を受けて行う事業なので県で計画的な案を立てて行ってもらいたい旨の発言があり、要請があれば、拠点病院の先生方も協力することとした。

##### 2) がん看護専門看護師（CNS）コース履修者の合格について

伊藤（登）委員から昨年11月1日に日本看護協会認定審査を受け、12月9日にがん看護専門看護師が1名誕生した旨の報告があった。

##### 3) 諮問委員会のメンバーについて

柴田委員から諮問委員会のメンバーとして、歯科医師会の方にも入っていただきたい旨の発言があり、了承された。

##### 4) 次回委員会開催について

柴田委員から次回諮問委員会は、ワークショップと抱き合わせで開催したいので、あらためて案内する旨発言があった。